

# 地方大学・地域産業創生交付金（静岡市・静岡県）〈R6年度～R15年度（R10まで国費支援）〉 （駿河湾・海洋DX先端拠点化計画）

## 概要

- ▶ 静岡市・静岡県では、駿河湾の多様なデータ創出から地域の課題解決につなげる“マリンインフォマティクス(MI)”により、主要産業である**海洋産業の活性化**に取り組む。
- ▶ 静岡理工科大学では、海洋DXコース（修士課程）を新設するほか、静岡大学と共同でマリンインフォマティクス(MI)研究機構を設立。東海大学や、その他域内外の大学・研究機関等とも連携して、**海洋DXに関する教育・研究体制を構築、社会人教育を含むカリキュラムを新たに整備し、海洋DXの推進を担う人材を輩出。**
- ▶ 地元企業等が、駿河湾のデータを駆使し、特産である**サクラエビ等の新たな漁業支援システム**や、将来の地域ブランドとして期待される**大型藻類養殖技術等**を確立することで、**地域性を活かした事業展開を推進・強化していく。**

## 活動内容

### （プロジェクトの狙い）

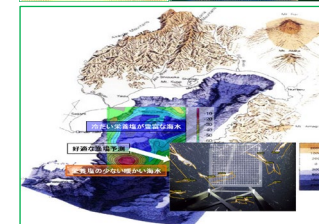
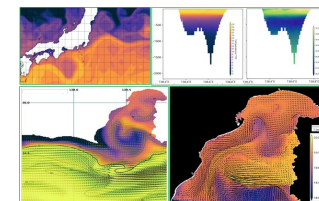
- ▶ 静岡市は、海洋関連の産業基盤を持つが、近年は、海洋環境の変化を背景に、漁獲量減少の顕在化や、新たな養殖事業への関心、海洋技術開発のテストベッド需要等への対応が必要。
- ▶ そこで、従来は経験値に頼る部分が多かった海洋産業において、**駿河湾における海洋関連データを拡充、駆使できる環境と人材の増強により、新規ビジネス創出への挑戦の機会を拡大し、若者にも魅力のある海洋産業への転換を目指す。**

### （具体的取組）

- ▶ 大学（静岡理工科大学、静岡大学、東海大学）
  - R7年度にMI研究機構を設立。**大型計算機「MI駿河」の導入により駿河湾超大規模データの創出を開始**、加えて海洋DX基盤4分野の先進研究テーマ20課題を採択、推進。
  - R9年度に、**海洋DXコース(修士課程)を新設予定**。社会人教育含む海洋DX推進に必要なデータ作成から実習による課題解決までの実践的プログラムを提供し、海洋DX人材を輩出。
- ▶ 産業
  - 静岡市に拠点を置く鈴与グループ、通信・情報処理等に精通するNTTグループを中心に、駿河湾特産の**サクラエビ等の漁業持続性と効率性の向上を目的とする海洋DX技術開発、大型藻類養殖技術、および新たな海洋観測技術・機器等の開発及び事業化**を目指す。
  - 「駿河湾・海洋DX研究開発事業化コンソーシアム」による広範な地場企業の参画、および次世代のスタートアップ等の参画を促進し、地域海洋関連産業基盤の再強化を促進。



産業・研究機関が集積する清水港と駿河湾



駿河湾マリンインフォマティクスシステムにおける駿河湾巨大データと情報の提供イメージ

事業責任者：橋本 正洋（（一財）マリンオープンイノベーション機構・理事）

〈令和7年9月時点〉

主な参画機関：（官）静岡市、静岡県（学）静岡理工科大学、静岡大学、東海大学（産）鈴与株式会社、NTTグループ 他